

『けいはんな2』 B3班 第3回探訪（飛鳥）

- 《1》 探訪場所：飛鳥の「高松塚古墳、キトラ古墳など」
- 《2》 集合日時：2024(R06)年 06月 07日(金)10時
- 《3》 集合場所：近鉄電車・飛鳥駅改札口
- 《4》 参加者：受講生:34名、CA:3名、ガイド:4名
- 《5》 概要 飛鳥駅から徒歩で散策できる、高松塚古墳、キトラ古墳などを見学した。
日が照ると暑かったですが、心地よい風と時折曇りになり、まずまず快適な散策でした。
- 《6》 散策詳細

近鉄・飛鳥駅→中尾山古墳→高松塚古墳(壁画館)→文武天皇陵(宮内庁治定)→キトラ古墳→昼食(at 四神の館の周辺)→四神の館→檜隈寺跡→近鉄・飛鳥駅で解散

① 「飛鳥駅で集合」

“写真 a～b”

② 「中尾山古墳」八角墳

近くに宮内庁が治定した文武天皇陵がありますが、現在では多くの学者がこちらを文武天皇陵と唱えている。(高槻市の今城塚古墳と太田茶白山古墳(宮内庁は継体天皇陵として治定)の關係に類似)

文武天皇は火葬されたとのことで骨壺を納めればよいので、素人目には八角墳であることはわかりにくい小ぶりの古墳。(天皇で初めて火葬された持統天皇の子供なので、それに倣って火葬されたのでしょうか)

“写真 c”

③ 「高松塚古墳、壁画館」

壁画の保存については、すったもんだがありました。本物の壁画は専用の建物で修復されており、一般者は特別な時に抽選で、窓越しに見学できるそうです。

“写真 d～f”

④ 「牽牛子塚古墳」

高松塚古墳からキトラ古墳に移動の途中で、ガイドさんから遠方に白く見える牽牛子塚古墳の説明があった。

八角墳で斉明天皇陵ではないかとされる。5年の歳月をかけて白い石を葺きなおした。

“写真 g”

⑤ 「文武天皇陵」宮内庁治定

“写真 h”

⑥ 「キトラ古墳、四神の館」

壁に描かれている四神よりも、個人的には天井に描かれている天文図に興味を惹かれる。当時の中国の学問レベルの高さを示す。

“写真 i~k”

⑦ 「檜隈寺跡」

7世紀ごろに創建された渡来系氏族である倭漢氏の氏寺
蘇我氏などは渡来系の技術・知識をたくみに取り入れていた。

“写真 l~n”

⑧ 最後に、探訪を企画立案し、現地のガイドとの調整や、下見を含め複数回も散策に同行
いただいた3名のCAの方々に感謝いたします。

(ブログ担当：B3班 i)



写真 a 近鉄・飛鳥駅



写真 b 駅前で集合



写真 c 中尾山古墳



写真 d 高松塚古墳



写真 e 高松塚古墳の説明文



写真 f 壁画館(展示はレプリカ)



写真 g 率牛子塚古墳



写真 h 宮内庁治定の文武天皇陵



写真 i キトラ古墳と説明文



写真 j キトラ古墳



写真 k 四神の館



写真 l 檜隈寺跡



写真 m 檜隈寺跡の塔



写真 n 檜隈寺跡の説明文